

行事報告

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告(マレーシア)

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅 哲男
接合科学研究所 客員教授

本年度 2 ケ国目の CIS(カップリングインターンシップ)を、8 月 17 日~30 日の期間にマレーシア(クアラルンプール)で開催しました。大阪大学外国語学部 2 名、工学研究科 2 名、マラヤ大学言語学部 2 名、工学部 2 名の計 8 名の学生が参加しました。現地では 2 日間の事前研修を行い、企業理念やコミュニケーション手法の講義(講師：言語文化研究科の米田教授と藤原特任助教)、溶接基礎知識の講義(講師：接合研の菅客員教授)などを受講し、21 日から 5 日間の企業実習に臨みました。実習先の千代田マレーシア(エンジニアリング会社、千代田化工建設の子会社)で、会社説明(方針、組織、業務内容)を受けると共に、EPC(設計、調達、建設)業務に関する実習などを行いました。EPC 実習プログ

ラムは、今回オリジナルに企画されたものであり、業務把握の点で大変効果的なものでした。その後、サブコンのイースタンソルジャー社での企業実習(特に溶接)やペترون社の製油所見学などの日程を重ね、最終日の 29 日にはマラヤ大学で、学生は CIS の課題(「職場において求められるソフトスキルは何か」など)について発表しました。最終報告会は、千代田マレーシアの Shaiful 社長、マラヤ大学の Noor 工学部長、大阪大学の東外国語学部長ら計 19 名の参加があり、成功裏に終了しました。学生からは、「チームの力を集めて課題解決することやコミュニケーション力が重要だと感じた」などの感想もあり、「コミュニケーション力や問題解決能力の育成」の面で、大変有意義な活動でした。

